

## 『月刊中央会O!』アンケート調査の結果報告書

この結果からは、現在の記事の中で中央会から発信している「お知らせ」や「他の組合の紹介」などに興味をもたれている方が多いことが分かりました。また、これから掲載して欲しい内容では、「組合の取り組み事例紹介」や「法律や税務などの専門的な解説」、「景況情報の掘り下げた内容」などの要望がありました。現行機関紙の課題としては、文字が小さく読みづらいとの意見を頂戴しました。平成24年度からリニューアルする新たな機関紙に反映させていきます。

組合内部での情報提供としては、「組合事務所に設置している」組合が半数近くあり、その他の方法としては、「FAXや郵送」や「回覧」により組合員へ提供されています。回答いただいた方では、組合事務局（事務局長や職員の方）が72%以上ありました。

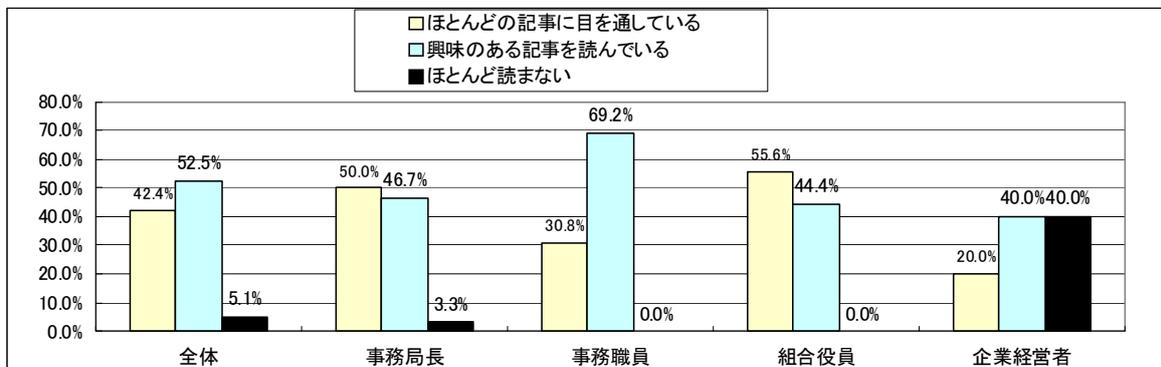
### 1. 機関紙のご講読状況について

～当会機関紙は、94.3%の組合にお読みいただいております～

機関紙のアンケートにお答えいただいた中で、全体的には、42.4%の方が「ほとんどの記事に目を通している」と回答を戴きました。「興味のある記事を読んでいる」（52.5%）の方を含めると94.9%の方にお読みいただいております。（図1）

＜図1＞機関紙の講読状況

（単位：％）



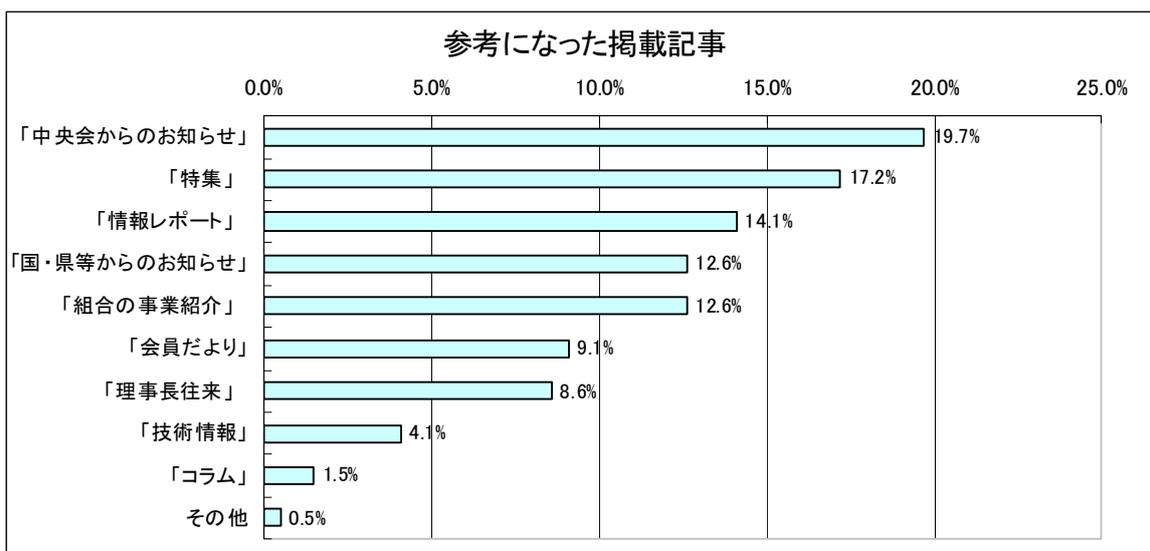
### 2. 機関紙の掲載記事の中で、ご参考になった項目について

～掲載記事の中で「中央会からのお知らせ」が一番多く読まれている～

読まれている掲載記事の中では、中央会からのセミナー等のご案内や、その結果報告などを掲載した「中央会からのお知らせ」が19.7%と一番多く、次いで、時流に合わせた題材を掲載した「特集」（17.2%）、毎月の景況動向調査結果の「情報レポート」（14.1%）、国や兵庫県などのお知らせ項目を掲載した「国からのお知らせ」（12.6%）、会員組合の取り組み事業を紹介した「組合の事業紹介」（12.6%）の順となりました。（図2）

＜図2＞参考になった掲載記事

(単位:%)



### 3. 設問(1)で「ほとんど読まない」とご回答された方の理由について

～「関心のある記事が少なく、読みづらい」との意見を頂戴した～

- ・ 機関紙の必要性を感じない。
- ・ 興味、関心のある記事が少ない。
- ・ 読む時間が無い
- ・ 読みづらい、表紙の文字が細かいので、中を見る気がしない。関係ない記事が多い。
- ・ ほとんどありきたりな項目が多い。

### 4. これから掲載して欲しい内容について

～「各種法令、制度の解説」、「他組合の事例や成功例の紹介」、  
「情報レポートの掘り下げ」などの要望がありました。～

- ・ 健康について
- ・ 情報レポートの掘り下げ
- ・ 関係する法令、事例を取り上げ解説（シリーズとして）
- ・ 地域ブランドを活用した地域活性化の取組み事例
- ・ 現行通りでOK
- ・ 中央実業出版社発行の企業実務等・税務・金融・経営記事を掲載されても参考になると思います。
- ・ 助成金やセミナーの内容などを入れて欲しい。
- ・ 法律、条令等の改正についての解説
- ・ 法改正や事業協同組合の諸手続きについて
- ・ 他組合の事業紹介は、関心があり、参考になります。多角化成功事例があれば掲載して欲しい。
- ・ 多忙にかまけて勉強不足です。税務・労務等の制度が変わることが多いので、変わった事を掲載していただきたい。
- ・ 産業全体の事項をもっと突っ込んで解説して欲しい。
- ・ 編集者又は外部見識者のコラム欄のシリーズ記事

## 5. 組合内での会員企業への情報提供方法について

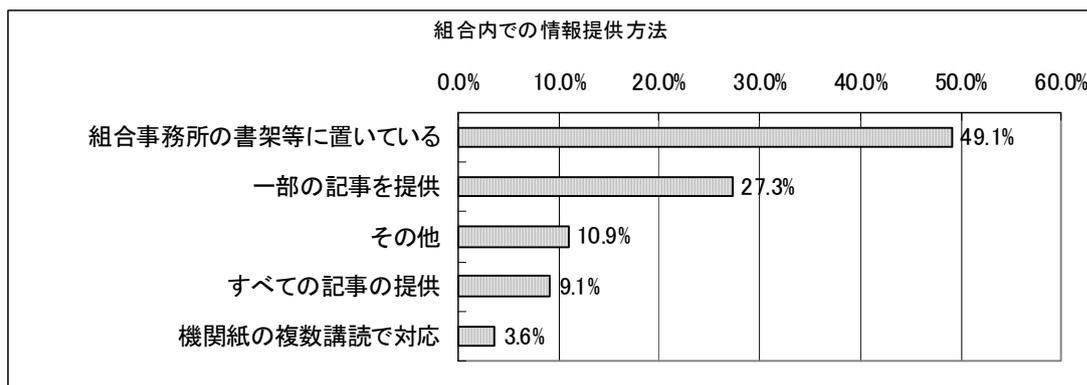
～当会機関紙の会員への提供方法は、49.1%が

「組合事務所内に設置」されている～

組合での情報提供方法は、組合事務所に中央会機関紙を置かれている組合が49.1%と一番多く、組合の半数近くが回答されました。次いで、機関紙の一部の記事を組合員へ提供されている組合が27.3%あり、複数講読で対応されている組合が3.6%ありました。(図3)

＜図3＞組合内での情報提供方法

(単位:%)



《その他の回答の中から》

- ・ 回覧方式
- ・ 組合員参考ページはコピー又はFAXにて提供
- ・ 組合で機関誌を発行しているので、特別に企画していない。
- ・ 三役に供覧し、必要に応じて組合員に提供している。
- ・ 機関紙の一部記事をコピーし、冊子は、理事長へ手渡している。

## 6. 組合内での会員企業への情報提供手段について

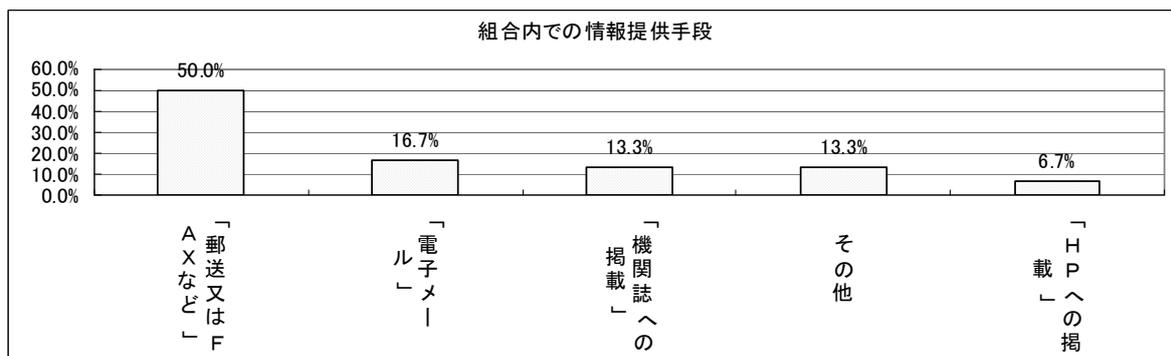
～会員企業への情報手段は「郵便やFAX」による方法が50%あった～

組合内部での情報提供手段としては、「郵便やFAX」による方法が一番多く、半数の50%の組合が回答されました。次いで、「電子メール」での方法が16.7%あり、又、組合の「機関紙への掲載」(13.3%)や「HPへの掲載」(6.7%)があり、中央会の機関紙を利用されています。

(図4)

＜図4＞組合内での情報提供手段

(単位:%)



《その他の回答の中から》

- ・ 理事会において必要事項を伝達又はコピーの配布
- ・ 理事会や例会で紹介する

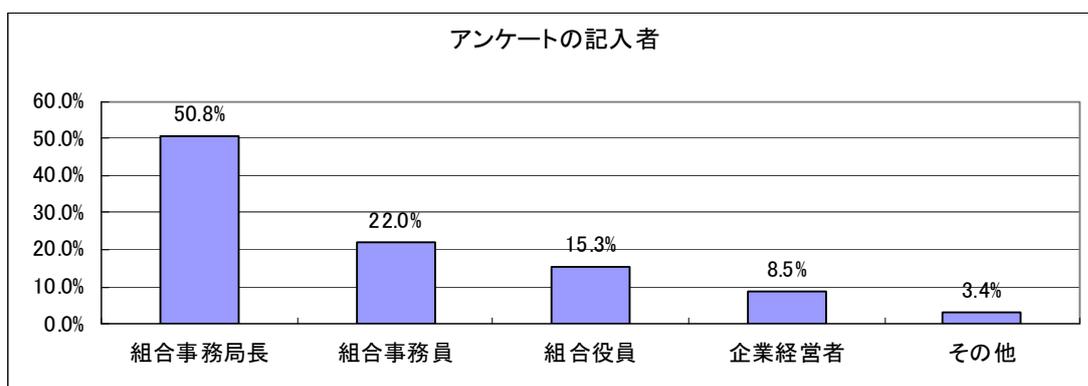
## 7. 記入者

～今回ご回答いただいた方は、50.8%が「組合事務局長」であった～

ご回答いただいた組合の方々を調べますと、(図5)のとおり組合事務局(50.8%)からの回答が一番多く、次いで、事務職員(22.0%)、組合役員(15.3%)、会員企業者(8.5%)の順となっています。(図5)

<図5>アンケートの回答者

(単位:%)



以上の結果となりました。

ご協力いただきました組合の方々には、厚く御礼申し上げます。